

やまさき

やさしさの「や」 まっすぐの「ま」 さわやかな「さ」 きぼうの「き」

<http://www.machida-ky.ed.jp/school/e-yamasaki/>

学校だより 10月号
町田市立山崎小学校

校長 小澤 智幸
2022年9月30日
TEL 042-793-2004

実りの秋に

副校長 山本 美紀

水田の稲穂が大きく頭（こうべ）を垂れ、収穫の季節を迎えました。

今年も地域の皆様のご指導により、5年生の児童が稲刈りの学習に取り組むことができました。暑い夏、水やりや観察のため学校に通った5年生は、手間をかけて米作りをする大変さを感じる貴重な機会となりました。改めて地域や保護者の皆様方に、御礼申し上げます

先月末には、6年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が出されました。児童の学校生活への満足度が分かる項目をご紹介します。

- ・学校に行くのは楽しいと思いますか 91.3%
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか 89.6%
- ・友達と協力するのは楽しいですか 94.8%

3年生以上に実施された東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査結果では、学習面の満足度を見取ることができます。「授業の内容はよく分かりますか」に対して、9割の児童が「そう思う」と回答しています。

「授業がよく分かる」と答えた児童が多かったのは、学校として喜ばしいことでした。何より嬉しかったのは、学びに向かう児童の姿勢です。「学習の動機」「学習の進め方」として、以下、9割程度の回答があった項目です。

- ・分かることやできることが楽しい
- ・しっかり考えられるようになりたい
- ・将来の仕事や生活に役立つ
- ・友達や先生と学習するのが楽しい
- ・難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる
- ・集中して学習に取り組んでいる

このように、児童が友達と協働しながら前向きに学習に取り組むことができるのは、ご家庭での励ましや声かけがあるからこそと、感謝しております。

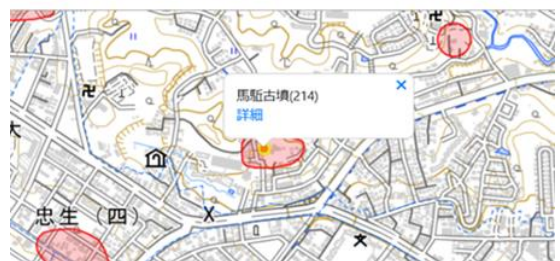
これからも、児童の意欲を大切にしつつ、自身の学習を振り返り、次の学習につなげることができる力を培っていきたいと思います。

児童一人一人の学びが実りあるものになるよう、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

山崎再発見!【馬駟古墳】

「馬駟古墳」は、図師町にあったといわれる古墳です。東京都教育委員会のHPにある、【東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス】には、町田市の遺跡番号214番の遺跡として登録されており、下のような場所が記されています。

東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス



1961(昭和36)年に東京都教育委員会より発行された【南多摩文化財総合調査報告】には、当時の馬駟古墳について、『西方から延びる丘陵の突端部の頂部、府中～淵野辺間都道の西備に近く位置する径約10mの円墳である。かなり変形していて、諸施設とも不明である。』と書かれています。そこで、国土地理院のHP【地図・空中閲覧サービス】からこの場所の昔の空中写真を調べてみました。そこで見つけた写真が下の写真です。1942(昭和17)年2月9日に陸軍が撮影したものです。



地図と空中写真を見比べると、画面左下(白丸)のところが「かぶと塚」だと思われる。そこから北の方角を見ると古墳らしきものは見当たりませんが、北北東の方角には丸いものが見えます。これより古い空中写真を見付けることができず、これ以上調べることはできませんでした。地図とは方角が違うので、これが馬駟古墳だということは断定ができませんでしたが、古墳があったということは、事実のようです。

日					5	6
---	--	--	--	--	---	---

こちらの内容は
配布済みのお便りで
ご確認ください

きこえの教室から

(きこえの教室)

きこえの教室では、個別学習・グループ学習を通して、聞く力・ことばの力・コミュニケーション力を伸ばします。在籍学級では、難聴理解推進を行い、座席の配慮・視覚的で短い指示の依頼等を行っています。子供によって困り感が異なるため、担任の先生、保護者の方と連携しながら、子供たちの支援をしていきます。

サポートルームから

(サポートルーム)

サポートルームの小集団では、コミュニケーション能力を育てる活動をしています。気持ちの言葉や伝え方を学び、実際に使う練習をします。また、自分の感じている事と友達の感じ方は、同じ時も違う時もあることを活動を通して理解を深めています。

マスクをしていると表情が読み取れず、コミュニケーションの難しさを感じます。このような状況だからこそ、言葉で伝える力を伸ばしていきたいです。

子供たちに豊かな読書環境を

(図書担当)

10月から秋の読書月間が始まります。全国読書週間は、10月27日から11月9日までですが、本校は毎年6月と10月を読書月間としています。

9月には、新型コロナウイルス対応予算で、低学年が好きな本を多く購入しました。また、その他にも新しい本を購入し、図書室の本が今まで以上に充実しています。学校では、子供たちの手元にいろいろな本が行き届くように、図書室を整備しています。これを機に、ぜひお子さんがどのような本を読んでいるのか、ご家庭で共有してください。おうちの方が小学生時代に読んだ本を紹介するのも、楽しいかもしれません。ゆっくり「親子読書」の時間を設けていただき、おうちの方が読み聞かせをしたり、お子さんと一緒に本を読む時間を設けたり、家庭でできるものに取り組んでいただくと、より充実した読書月間になります。

山崎小学校の子供たちには、たくさんの素晴らしい本を読んでほしいです。そして、心を豊かにしてほしいです。

